

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当  
昭和57年8月18日 第19報

## 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(珪) <i>Melosira granulata</i>	140		
(珪) <i>Melosira italica</i>	200		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	60		
(渦) <i>Gymnodinium</i> sp.	20		
(渦) <i>Peridinium</i> sp.	20		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	60		
(緑) <i>Gonium pectorale</i>	320		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	640	◎	○
(緑) <i>Scenedesmus quadricauda</i>	80		
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subprorum</i>	20		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	340	○	◎
(緑) <i>Staurastrum longiradiatum</i>	20		
(緑) <i>Staurastrum sebaldi</i> var. <i>productum</i>	20		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	400	20.6	3.2
(渦) 渦鞭毛藻綱	40	2.1	0.9
(褐) 褐色鞭毛藻綱	60	3.1	0.8
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	1440	74.2	95.1
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	1940	総体積	1.33E+07
種 類 数	13	( $\mu\text{m}^3$ )	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)  
ただし \* 印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。

## 植物プランクトン優占種

第 1 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	640

第 2 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	340

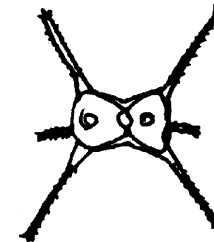
### 植物プランクトン第1優占種



***Pediastrum biwae***  
(ビワクンショウモ)  
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ビワクンショウモと呼ばれている。

### 植物プランクトン第2優占種



***Staurastrum dorsidentiferum***  
var. *ornatum*  
(スタウラスツルム)  
緑藻綱

ツツミモの仲間に属する大型のプランクトンで、細胞の中間がくびれている。横から見ると、4本の腕が出ているように見える。上から見ると3本の腕が出ているように見える。